

1人1台端末の活用による実践事例

(小・中学校)

学校名	赤磐市立城南小学校	実践者名	狩野 英雄
教科等	生活科	学年	第2学年
		授業活用段階 (岡山県版)	Stage 2
育成したい 資質・能力	野菜の栽培を通して、植物とふれあい大切にしようすることができる。		
単元・内容等	「ぐんぐんそだて おいしいやさい」 夏野菜を栽培する活動を通して、植物が生命をもっていることや成長していることに気付く。		
児童生徒の実態 (端末活用頻度等)	・ログインはスムーズにできる。文字入力はまだできない。 ・写真を撮る。写真をアプリで送ることはできる。		
活用の概要（使用アプリ名を含む） ※写真も掲載する			
(1) 育てたい野菜を選び、調べる。 きゅうり・なす・ピーマン・オクラの中から好きな野菜を選び、育て方や世話の仕方などを調べる。その際、調べ方法も自身で選択できるよう、図鑑でも端末でもよいことを伝える。			
(2) 野菜の苗を植えて世話をする。 毎日水やりをしながら、野菜の様子を観察した。変化や新たな気づきがあった時には、自分で端末を持ち出し、気付いたところを撮影する。			
(3) 成長の様子を記録する。 観察カードに記録をするときに、端末で写真に撮影し、見たいところを拡大して観察する。			
(4) 野菜を収穫する。 大きくなった野菜は、端末で撮影後、収穫する。			
(5) 野菜の成長を振り返る。 撮った写真を見返し、苗を植えたとき、大きく育ったとき、実ができたときの3つの写真を選んでクラウドのデータに保存し、観察カードとともに成長の様子を振り返った。			
実践者の手ごたえ		児童生徒の振り返りや反応等	
・観察時は、毎回端末を活用して写真を撮ることで、野菜の成長の様子をそのまま記録することができた。写真に撮ることで見たいところを拡大して詳しく観察できるので効果的であると思った。 ・児童生徒が気付いたときにすぐ端末で写真を撮れるのは、一人一台のよいところだと思った。 ・今後は、撮りためた写真データを使って、野菜図鑑を作成する活動を計画し、発表の場を設定したいと考えている。		(児童の感想) 「大きくなっていく様子を写真に撮れて嬉しかった。」 「写真に撮って大きく見ると、細かいところも詳しく分かった。」 「野菜の花が散ってから実ができていたのを見て、はやく大きくなってほしいと思った。」 「写真に撮るのは便利だ。大きく実ができた様子が撮影できた。」	